

【事業報告】

I 事業状況

1. 日独学術文化に関する研究並びにその助成（定款第4条第1項第1号）

〈第24回公開シンポジウムの開催〉

① 開催日と場所：

平成26年12月20日（土） ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川大ホール

② 参加者：71名

③ テーマ：連続テーマ「ことば」の2回目として「宗教的言語」

④ 基調講演：

● 大峯 顯氏（大阪大学名誉教授）：「仏についての言葉と仏である言葉」

● 芦名定道氏（京都大学教授）：「キリスト教思想と宗教言語 ―象徴・隠喩・テキスト」

⑤ パネル討論：

パネラー：講演者 大峯氏、芦名氏

司会及びコメンテーター：大橋理事、秋富理事

参加者からの質疑等もあり、活発な討論が展開された。

2. 日独学術文化に関する図書雑誌の編集及び出版刊行（定款第4条第1項第2号）

〈年報の刊行 平成26年度年報『文明と哲学』第7号〉

① 刊行月：平成27年4月

② 内容：

【論考】

・カスパー・フリードリッヒと田能村直入に見られる自然理解 松丸壽雄

・「悲」（コンパシオン）の現象論（二） ―ある「他者」論の試み（続）
大橋良介

・文明・文化と「三」 谷徹

・哲学の家郷 ―西田とハイデッガーの哲学的対話に向けて（一） 秋富克哉

・「詩」と「自由」 ―鈴木大拙の提言 水野友晴

【対談】

・法治主義を考える ―普遍化と具体化の中で 高田敏＋高田篤

【エッセイ「私とドイツ」】

- ・一精神科医のドイツとの交流 木村敏
- ・私のドイツ公法学との対話 高田篤
- ・異言語・ドイツ語と向き合う 小川暁夫
- ・メディアとしてのドイツ法 高山佳奈子
- ・「妙」雑感 一大拙とハイデッガー 森哲郎
- ・私にとってのドイツ 初宿正典
- ・私とドイツ 阿部光幸

【公開シンポジウム「ことば」】

- ・言葉が宇宙を創る 一はじめに言葉ありきの国と言霊の幸はふ国 高橋輝暁
- ・Es の宇宙一言い得ないものが言葉になる時 小川暁夫

【学術交流講演会】

- ・アウシュヴィッツ以後の神学 ユルゲン・マーネマン (大橋良介・訳)
- ・ハイデッガー「黒ノート」の位置価 マルクス・ヴィルツ (田鍋良臣・訳)

【賛助会員年次総会講演】

- ・ドイツのサステイナビリティ運動を垣間見る 大橋良介

【特別附録 比叡山での対話 一九九五年八月十五日】

- ・文化と政治の精神的基盤 リヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカー

③ 編集代表者：谷理事

〈公開シンポジウム成果報告集『生と死』の刊行〉

- ① 刊行月：平成 26 年 6 月
- ② 要旨：2009 年度から 2012 年度まで 4 年にわたって「生と死」を基本テーマに開催された公開シンポジウムの成果報告
- ③ 編集代表者：秋富理事

3. 日独学術文化に関する講習会・講演会等の開催（定款第 4 条第 1 項第 3 号）

〈哲学講座「初夏講座」〉

- ① 開催日と場所：
第 1 回：平成 26 年 5 月 20 日（火）
第 2 回：同 5 月 27 日（火）
第 3 回：同 6 月 3 日（火）

第4回：同6月10日（火）

第5回：同6月17日（火）

第6回：同6月24日（火）

会場はいずれもゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川小ホール。

- ② 受講者：21名（大学生11名、社会人10名）
- ③ テーマ：「6つのキーワードからみる西田哲学」
- ④ 講師：岡田勝明氏（姫路獨協大学教授）

〈哲学講座「中秋講座」〉

- ① 開催日と場所：
 - 第1回・第2回：平成26年10月4日（土）
 - 第3回・第4回：同10月18日（土）
 - 第5回・第6回：同10月25日（土）会場はいずれも京都大学百周年時計台記念館2階会議室IV。
- ② 受講者：25名（大学生3名、社会人22名）
- ③ テーマ：「ハイデガーとその時代」
- ④ 講師：高田珠樹氏（大阪大学教授）

〈哲学講座「初春講座」〉

- ① 開催日と場所：
 - 第1回・第2回：平成27年2月21日（土）
 - 第3回・第4回：同2月28日（土）
 - 第5回・第6回：同3月21日（土）会場はいずれもゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川小ホール。
- ② 受講者：15名（大学生6名、社会人9名）
- ③ テーマ：「ショーペンハウアーとニーチェ」
- ④ 講師：須藤訓任氏（大阪大学教授）

4. 日独学術文化に関する図書及び資料の収集、公開及び配布（定款第4条第1項第4号）

〈所内報の発行〉

- ① 刊行月：平成27年3月

② 要旨：本法人の活動内容や事業報告を一般の人々にもわかりやすいように所内報第3号にとりまとめ、賛助会員をはじめ、事業参加者などに配布。

5. 日独学術文化に関する研究者の招待、派遣及び交換（定款第4条第1項第5号）

国内の学会、大学と連携して、ドイツ・オーストリアから学者を招待し、講演会等を開催。また、講演会等をきっかけとした日本の若手研究者の交流会参加を支援。

〈マルクス・ヴィルツ氏講演会（2回）〉

（第1回）

- ① 開催日と場所：平成26年4月19日（土） 立命館大学末川記念会館第3会議室
- ② 演題：“Martin Heideggers Auffassung des Nichts und die buddhistische Konzeption der Leere”
- ③ 講師：マルクス・ヴィルツ氏（ドイツ・ケルン大学教授）
- ④ 参加者：30名

（第2回）

- ① 開催日と場所：平成26年4月20日（日） 京都大学大学院人間・環境学研究科棟433号室
- ② 演題：“Der Stellenwert von Heideggers 'Schwarzen Heften' im Kontext des seyns-geschichtlichen Denkens”
- ③ 講師：マルクス・ヴィルツ氏（ドイツ・ケルン大学教授）
- ④ 参加者：30名

〈ペーター・トラヴニー氏講演会（2回）〉

（第1回）

- ① 開催日と場所：平成26年12月10日（水） 京都大学大学院・環境学研究科棟433号室
- ② 演題：“Das Universale und die Vernichtung. Heideggers seinsgeschichtlicher Antisemitismus”
- ③ 講師：ペーター・トラヴニー氏（ドイツ・ブッパータール大学教授）
- ④ 参加者：30名
- ⑤ 共催：東京ドイツ文化センター、協力：京都大学大学院人間・環境学研究科安

部研究室、関西ハイデガー研究会

(第2回)

- ① 開催日と場所：平成26年12月11日(木) ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川小ホール
- ② 演題：“Heidegger, “Weltjudentum” und die Moderne”
- ③ 講師：ペーター・トラヴニー氏(ドイツ・ブッパータール大学教授)
- ④ 参加者：30名
- ⑤ 共催：東京ドイツ文化センター、協力：京都大学大学院人間・環境学研究科安部研究室、関西ハイデガー研究会

〈ゲオルク・リーンバッハ氏講演会〉

- ① 開催日と場所：平成27年2月12日(木) 大阪大学法経研究棟L2教室
- ② 演題：“Das Legalitätsprinzip in der österreichischen Bundesverfassung”
- ③ 講師：ゲオルク・リーンバッハ氏(オーストリア・ウィーン経済大学教授)
- ④ 参加者：30名
- ⑤ 共催：大阪大学大学院法学研究科・高等司法研究科

〈マティアス・イエシュテット氏シンポジウム〉

- ① 開催日と場所：平成27年3月7日(土) 大阪大学中之島センター 講義室303
- ② 演題：“Aufklärung durch Rechtstheorie – Konzeption und Rolle des Verwaltungsermessens im Lichte der reinen Rechtslehre”
- ③ 講師：マティアス・イエシュテット氏(ドイツ・フライブルク大学教授)
- ④ コメンテーター：黄舒芃氏(台湾・中央研究院法律学研究所研究員)、高田倫子氏(中京大学法学部准教授)
- ⑤ 参加者：30名
- ⑥ 共催：大阪大学法学会

〈ロルフ・エルバーフェルト氏講演会(2回)〉

(第1回)

- ① 開催日と場所：平成27年3月15日(日) 京都産業大学第二研究棟会議室
- ② 要旨：西谷啓治「覚について」の日独翻訳ワークショップ

- ③ 講師：ロルフ・エルバーフェルト氏（ドイツ・ヒルデスハイム大学教授）
- ④ 参加者：10名
- ⑤ 共催：京都産業大学

（第2回）

- ① 開催日と場所：平成27年3月17日（火） 大阪大学
- ② 演題：“Polyphone Seelen - Nietzsches Philosophie der Kultueren”
- ③ 講師：ロルフ・エルバーフェルト氏（ドイツ・ヒルデスハイム大学教授）
- ④ 参加者：25名
- ⑤ 共催：京都産業大学

〈ドイツ法フォーラム〉

- ① 開催日と場所：平成27年3月30日（月） 京都大学法経本館法経11番教室
- ② 支援対象者：2名
- ③ 要旨：「第17回ドイツ法フォーラム——政治と法」への参加旅費を助成

● 事業別の事業実績のまとめ

（単位：円）

定款第4条	事業内容	謝金	会議費	旅費交通費	通信運搬費	印刷製本費	消耗品	その他	計
研究並びにその助成	公開シンポジウム	222,740	9,916	0	54,979	80,039	2,158	324	370,156
編集及び出版刊行	年報		37,050	0	13,949	1,918,292	230	1,836	1,971,357
	シンポジウム成果報告集				1,114	1,000,000		864	1,001,978
講習会・講演会等	哲学講座	601,401	25,920	1,980	159,824	204,350	82,242	3,216	1,078,933
資料の収集公開配布	所内報			3,420	140	59,400		432	63,392
研究者の招待・派遣等	学術交流	862,829	100	42,600	3,484	7,000			916,013
職員人件費他				115,752	200,811		210,692	2,897,423	3,424,678
	合計	1,686,970	72,986	163,752	434,301	3,269,081	295,322	2,904,095	8,826,507

II 登記、届出、報告等事項

1. 平成26年4月1日 公益法人認定を受け、移行登記を行う。
2. 平成26年4月10日 内閣府に移行登記完了届提出。
3. 平成27年3月27日 内閣府に事業計画書等を提出。